

2019 年度  
公益財団法人つくば科学万博記念財団  
事業報告書

自 2019 年 4 月 1 日  
至 2020 年 3 月 31 日



## 目 次

はじめに	1
I. 個別の事業活動に関すること	
1. つくばエキスポセンターの運営に関する事業	1
(1) 展示	3
(2) 催事	4
(3) プラネタリウム及び3Dシアター	10
(4) ミュージアムショップ	15
(5) その他	15
2. 科学技術の普及啓発及び人材育成の促進、科学技術に関する 産業界、大学及び公的研究機関の連携促進並びに科学技術の 国際交流の促進に関する事業	16
(1) 科学技術の普及啓発及び人材育成の促進	16
(2) 科学技術に関する産業界、大学及び公的研究機関 の連携促進並びに科学技術の国際交流の促進	19
3. 科学技術関係団体等に関する事業	19
4. 情報発信・広報活動	20
(1) 情報発信（情報公開）	20
(2) 広報活動	20
(3) 情報セキュリティの強化	20
5. その他（新型コロナウイルス感染拡大の影響）	20
II. 財団運営に関する総合的な活動に関すること	
1. 代表理事・業務執行理事及び理事会・評議員会	21
(1) 理事会	21
(2) 評議員会	22
2. 監査	22
3. 内閣府による立ち入り検査	22
4. 基金の運用	23
(1) 運用収入	23
(2) 再投資	23
(3) その他	23
5. 施設・設備	23
6. 業務執行体制	24
7. その他	24

## はじめに

公益財団法人つくば科学万博記念財団（以下「財団」という。）は、財団を取り巻く科学技術環境等の変化や財政状況も転換期を迎えつつあることを踏まえて「つくば科学万博記念財団中長期計画」（以下、「財団中長期計画」という。）を2017年3月に策定した。

2019年度は、財団中長期計画の3年目にあたり、引き続き財団の新生化と地域における存在基盤の確立を目指し、既存事業の効果や必要性について見直しを図りながら、10月1日よりつくばエキスポセンター（以下「センター」という。）の入館料等の料金改定を行い、財団運営の継続性を確保しつつ、時代の流れや社会のニーズの変化に常に対応していくことを意識して事業に取り組んだ。

また、新しい常設展示としてスーパーコンピューター「京」の筐体展示、小学校3、4年生を対象とした「エキスポ科学クラブ」の発足、老朽化に伴うデジタルプラネタリウム等の更新等を行うとともに、G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合の関連行事や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関わるつくば市への協力など地域との連携を深めた。

一方、センターの入館者数は176,296人と前年度（194,150人）を大きく下回ったが、その最大の要因は2020年の年明けに発生した新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年3月3日から年度を越え約3か月間に亘って臨時休館が余儀なくされたことにある。再開後も来館者とスタッフの安全確保の観点から感染防止対策に取り組んでいく必要がある。

2019年度の事業計画に従い、実施した事業は以下のとおりである。

### I. 個別の事業活動に関すること

#### 1. つくばエキスポセンターの運営に関する事業【公益1・収益1】

センターの運営事業は、財団中長期計画に基づき、「つくば」に立地するという点を強く意識し、「常に科学技術に触れることができる」「科学技術の本質を理解することができる」「未来の社会経済の姿を想像できる」という観点から、展示や科学技術コミュニケーション、催事、プラネタリウム等の様々な活動を行った。

事業の実施にあたっては、地元自治体やつくば地域に立地する研究開発機関、教育機関や民間企業等と連携・協力するとともに、ボランティアの協力も得て、事業を実施した。

また、「いきいき茨城ゆめ国体」や「G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣

会合」等、茨城県やつくば市で開催された科学技術に関係の深い事業に協力した。加えて、センター運営の重要な財源の一つである入館料等について、10月の消費税率の改定に合わせて料金改定を行った。

2019年度の入館者数は176,296人（前年度：194,150人）であり、昨年度を1割程下回った。デジタルプラネタリウム等更新工事のための12月、1月とプラネタリウムの上映停止による減少は、企画展「世にも不思議な美術展～トリックアートの世界2～」が好評だったことにより最小限に留めることができたが、今年度の減少は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年3月3日より臨時休館としたことが最も大きな要因となっている。

表 - 1 入館者数 (単位:人)

年度/月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
2019	48,190	70,545	36,207	21,354	176,296
2018	49,438	74,952	36,501	33,259	194,150
年度増減	△1,248	△4,407	△294	△11,905	△17,854

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 (3/3～3/31)

表 - 2 プラネタリウム入場者数 (単位:人)

年度/月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計/平均
2019	29,084	44,304	16,469	8,854	98,711
入館者比(%)	60%	63%	45%	41%	56%
2018	27,096	47,356	20,818	22,377	117,647
入館者比(%)	55%	63%	57%	67%	61%

※デジタルプラネタリウム等更新工事期間は上映なし (12/13～1/31)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 (3/3～3/31)

表 - 3 団体利用者数 (単位:人)

年度/月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
2019	8,830	9,063	8,161	2,789	28,843
2018	7,172	10,868	9,504	4,223	31,767
年度増減	1,658	△1,805	△1,343	△1,434	△2,924

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館 (3/3～3/31)

## (1) 展示【公益1】

展示事業は、あらゆる世代の来館者が科学技術に触れることのできる機会や場となることを目指し、科学技術への興味・関心への導入、発展的な理解増進に繋がるよう、展示場ごとの機能や役割を明確化し展開した。

2017年度から着手した「つくばエキスポセンター展示構想案」(以下、「展示構想案」という。)に則り、かつ、つくば市中心市街地まちづくりビジョンの計画や動向を踏まえ、可能な限り共存できるよう見直しを図ることとし、つくば市との情報交換を継続している。

加えて、各展示場の機能が最大限発揮されるよう、国内唯一の南極雪上車動態展示等、センターの資源を有効活用し、来館者とスタッフ、研究者・技術者等による双方向・マルチ方向の科学技術コミュニケーションの実践に努めた。

さらに、あらゆる来館者に向け快適な施設利用の向上を図っていくため、外国語対応やIBARAKI-Free-WiFi等の整備を進めた。

### ①1階展示場および屋外展示場【公益1】

1階展示場および屋外展示場は、誰もが科学技術を体験し、不思議さを実感できる「科学技術のエントランス機能」を果たせるよう展示運営に努めた。

1階展示場は、老朽化や情報の陳腐化等が著しく早期対応が必要な展示物の撤去、入替、情報更新等の作業を進めた。

屋外展示場では、多様な交流が生まれる空間づくりとして、サイエンス・サッカー教室等のイベントの実施や南極雪上車のメンテナンスと動態展示、試乗会を実施した。

### ②2階展示場【公益1】

2階展示場は、科学技術の重要性を認識し、理解を深め、発展させる機能を果たしていくことを目指して、展示構想案に沿ってスーパーコンピューター「京」の筐体を理化学研究所から譲り受け、科学技術を通して未来社会を見つめる新規展示として設置した。

加えて、筑波大学による「科学館における小型ロボットによる展示説明に関する実験」等、つくばの研究活動が可視化できる展開にも取り組み、筑波研究学園都市の研究機関、教育機関等からの協力を得ながら実施した。

### ③その他

4月より対面販売による新券売システムの本格運用を開始し、繁忙期の来館者の待ち時間減少等の来館者に向けたサービス向上を図った。加えて、チケット購入時の更なる環境改善のため、券売所の改修工事を行った。

その他、星丸復活プロジェクト企画として、つくば市内のAIベンチャー企業に協力して一部機能を復元した「コスモ星丸」を地域イベントである「つくばミニメイカーフェア2020」において展示した。さらに次年度以降には、最新技術を導入してバージョンアップを図るべく検討を進めている。

## (2) 催事【公益1】

催事事業は、幅広い世代を対象に科学技術のエントランス機能、科学技術の重要性と理解の発展機能を果たしていくことを念頭に、科学技術をより身近に感じ、理解増進に高い効果が期待できるよう事業を実施した。

加えて、つくば市で開催された「G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」の関連イベントの「つくばサイエンスハッカソン」や茨城県開催の「いきいき茨城ゆめ国体」の炬火イベントに協力した。

### ①一般催事【公益1】

一般催事は、誰もが気軽に参加でき、自然現象や生活を支える身近な科学技術等を実感できるよう、最新研究の状況や来館者のニーズを踏まえて内容を更新し、サイエンスショー、科学教室、講演・講座を毎週末に開催した。また、第一線で活躍する研究者等から活きた研究や体験が視聴できる機会の提供、対話が生まれる展開を意識し、新たに電池工業会等の関係機関から協力も得ながらプログラムの充実に取り組み、センターの魅力向上に努めた。

加えて、外部資金の取得と活用に努め、プログラミング教室の開催や新規プログラムの開発を行った。

#### a. サイエンスショー

いつでも科学技術に触れられる機会として、身のまわりにある科学現象をはじめ、常設展示に関連した科学の原理や技術等を実験ショー形式で楽しく演出し、主にエントランスホールや屋外展示場等で幅広い年代層にわかり易く解説した。また、これまでのプログラムにおいても新たな実験を取り入れる工夫を加えた。(12テーマ/197回)

<テーマ一覧>

4月	身近な気体
5月	シャボン玉
6月	飛ぶ
7月	ドライアイス
8月	深海の世界
9月	空気砲
10月	超低温の世界
11月	電池/協力:電池工業会
12月	光の七変化
1月	静電気
2月	見えない光
3月	大気圧 ※臨時休館により未実施

b. 科学教室

科学に関連する原理や仕組みについて、気軽に参加して理解を深めるとともに、ものづくり体験を通して自ら工夫する創造や技術の重要性を学ぶ機会となることを意識し、新規プログラム電子工作「光の三原色」を加え、工作教室を実施した。(21 テーマ/129 回)

<テーマ一覧>

春休み	ゴム動力飛行機
4月	バランストンボ
ゴールデンウィーク	UV チェックストラップ 竹とんぼ/磁性スライム
5月	さかさま水コップ
6月	ブーメラン
7月	風船電話
夏休み	CD ゴマ/光るスライム 風船ホバークラフト/3D 万華鏡
9月	ミニ空気砲
10月	風船スライム
11月	ふしぎなプロペラ
12月	電子工作「光の三原色」
正月	ぐにゃぐにゃ凧
1月	光るキーホルダー
2月	手作り my カイロ
3月	エコー電話 ※臨時休館により未実施
春休み	風船ロケット ※臨時休館により未実施

c. ジュニアサイエンス講座

ジュニアサイエンス講座は、ボランティアインストラクターが企画・準備・実施する活動として、科学技術をテーマにさらに踏み込んだ内容や詳しく学びたいという要望に応えることを意識して実施した。(10 テーマ/9 回)

<テーマ一覧>

4月	踊り子モーター
5月	逆立ちゴマの科学
6月	H-IIロケットの高さを測ろう
9月	水ロケット
10月	初めてのマイコン工作

11月	草木染めでオリジナルのハンカチを作ろう
12月	人気者！お散歩犬の工作
1月	重さの基準
2月	電気分解
3月	はじめてのラジオ工作 ※臨時休館により未実施

#### d. プログラミング教室

2018年度から引き続き、ビー・エム・ダブリュー社の協賛、全国科学館連携協議会の協力を得て、プログラミングワークショップ「自動運転で動く車のしくみ」を毎月1回開催した。

#### e. 季節イベント

センターにおける季節感を演出したイベントとして、「こいのぼりになってテクノ筑丸と写真をとろう！」や「七夕の星空に願いをかけよう～楽しい七夕飾りづくり～」等を開催した。

#### f. その他

新規プログラムとして、夏休み工作教室『アクリルライト工作』を開催したほか、幼児と保護者を対象とした新規プログラム「かがくであそぼう『とぶ』」を春休みに向けて企画し準備を進めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館により開催を見送った。

### ②特別催事【公益1】

特別催事は、科学技術をテーマに来館者が対話し、未来を想像する契機となるよう、話題性、新規性、意外性を踏まえたユニークな視点から科学技術の役割を紹介する企画展等を開催した。

企画展は、企画段階から関係機関等と連携を図り、科学技術の社会経済的役割や一般社会からの視点を意識して通年で開催した。春季には「しかけがいっぱい！とびだす絵本」、夏季には「科学捜査展」、冬季にはデジタルプラネタリウムの更新工事に伴う休止期間にあたるということもあり、2018年度に反響があったトリックアートによる「世にも不思議な美術展」の続編を開催し、来館者数確保に大きく貢献した。

また、6月に開催された「G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」の関連イベント「つくばサイエンスハッカソン」に協力するとともに、内閣府主催の地域創生イベント「地方創生ワカモノ会合 in つくば ICTで、地域は変わる 未来のまちを考えよう」に協力し、センターにおいて作品展示会を開催した。加えて、「いきいき茨城ゆめ国体2019」では、つくば市が主催する炬火イベント等、地元の

取り組みに積極的に協力した。

その他、次年度に開催する東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を意識して、スポーツや健康等をテーマに「ミーツ・ザ・サイエンス」、「サイエンスレクチャー」やミニ企画展を実施するとともに、科学技術に関するトピックス等に対応した情報発信及び機会の提供に努めた。

#### a. 企画展

##### 1) 春季企画展「しかけがいっぱい！とびだす絵本」

テーマ：仕掛け絵本

期 間：2019年3月21日（木祝）～6月9日（日）

協 力：(株) MOLEN、(株) 学研プラス

後 援：つくば市教育委員会

関連イベント：

○かがくえほんのおはなしかい

○アニメ絵本をつくろう

##### 2) 夏季企画展「科学捜査展 科学の力で真実を解き明かせ！」

テーマ：科学捜査

期 間：2019年7月20日（土）～9月1日（日）

協 力：茨城県警察本部

後 援：茨城県教育委員会、つくば市教育委員会

関連イベント：

○DNA はからだをつくる設計図

○自分の指紋を検出しよう！（鑑識体験）

○おしごと紹介！科学捜査研究員

##### 3) 冬季企画展「世にも不思議な美術展～トリックアートの世界2～」

テーマ：錯視

期 間：2019年11月2日（土）～2020年2月9日（日）

協 力：(株) 学研プラス 他

後 援：つくば市教育委員会

関連イベント：

○ワークショップ「トリックアートを作ろう！」

○講演会「アーティストに聞こう！トリックアートのひみつ」

○展示解説「トリックアート作品の前でアーティストと話そう！」

4) 春季企画展「かわったあそびが大集合！一つくって・ためして・かんがえる」

テーマ：STEAM 教育

期 間：2020年3月20日（金祝）～6月7日（日）※

※臨時休館により未開催

※期間は8月31日まで延長

後 援：茨城県教育委員会、つくば市教育委員会

5) ミニ企画展 「ミューオンでまだ見ぬ宇宙の謎を解け！」

テーマ：ミューオン

期 間：2019年7月6日（土）～2019年9月1日（日）

共 催：高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所

関連イベント：

○研究者とはなそう！ミューオンってなあに？

b. 自治体主催イベントへの協力

5月11日（土） ～12日（日）	「つくばフェスティバル2019」 UVチェックストラップづくり、 サイエンスミュージアムショップ
7月6日（土） ～9月1日（日）	「G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合地場性ワカモノ会inつくば」 ICTで、地域は変わる 未来のまちを考えよう作品展示会
8月24日（土）	「いきいき茨城ゆめ国体」 つくば市炬火イベント「科学の火」採火式
8月24日（土） ～25日（日）	「まつりつくば2019」ロボットパーク特別出展 ミニ企画「科学捜査展」

c. ミーツ・ザ・サイエンス

日常的に未来社会の姿を実現しようとしている研究者や専門家から直接話を聞き、最新の研究状況や成果等の活きた科学技術に触れ、実感し、活動を理解する場となることを目的に幅広い観点からのテーマや展開でイベントを実施した。

<テーマ一覧>

8月17日（土）	第42回「健康ナビ～元気な骨の作り方～」 共催：骨と情報の専門家集団「Team BONE」 協力：国立環境研究所 他
9月29日（日）	第43回「南極の今！～つくばに戻った隊員たち語る～」 共催：南極OB会茨城支部 協力：国立極地研究所、つくば市

	※昭和基地との中継 ※屋外での南極雪上車の試乗体験や雪上車走行デモ
10月14日(月祝)	第44回 スポーツと科学技術のコラボイベント 「サイエンス×サッカー教室」 協力：筑波大学、Blosson(株) 他
2月2日(日)	第45回 「チョコレート・サイエンス」 共催：高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 協力：東京フード(株)

#### d. 科学技術トピックス

現在進行形の最新研究や旬な話題の科学技術情報を提供する企画として、チバニアンコーナーの命名決定情報の追加や系外惑星に関するノーベル賞のパネル設置を行った。

#### f. その他の主催・共催イベント

4月16日(火) ～21日(日)	「科学技術週間」 ・「一家に一枚」科学のポスター展 ・第60回科学技術映像祭～入選作品上映会～ ・宇宙アサガオの種プレゼント ・一日館長
5月18日(土)	「国際植物の日」関連行事 ・宇宙アサガオの種プレゼント ・顕微鏡で植物を観察しよう！ 共催 筑波大学
7月7日(日)	「全国同時七夕講演会」 最新の電波観測で宇宙のナゾをとく 共催 高エネルギー加速器研究機構
8月2日(金)	「教員のための博物館の日」 共催 国立科学博物館、日本博物館協会 後援 文部科学省、茨城県教育委員会 他
8月19日(月) ～23日(金)	「第6回全国児童館・科学館・美術館対抗KAPLA大会」 つくばエキスポセンターエントリー ※夏休み期間中、体験展示設置
10月19日(土) ～20日(日)	「NUMO 出張展示<地層処分を学ぼう>」 協力 原子力発電環境整備機構

11月10日(日)	「電池の日」特別イベント 手づくり乾電池教室 協力 電池工業会
11月17日(日)	ミニサイエンスレクチャー「ちいさな太陽を地上につくる！」 協力 量子科学技術研究開発機構
12月21日(土)	「宇宙の日」記念行事 講演会 協力 宇宙航空研究開発機構
1月25日(土) ～2月7日(金)	「宝物を記録した『たんけんブック』コンテスト」 主催 いばらき子ども大学
2月24日(月祝)	オープンスクール「放射線を知ろう」 主催 日本原子力学会北関東支部

### (3) プラネタリウム及び3Dシアター【公益1】

#### ①プラネタリウム【公益1】

2019年12月から約2ヶ月間、デジタルプラネタリウムと音響設備の更新工事を行い、2月より運用を開始した。また、更新工事の期間中は仮設のエアードームを設置し、無料にてプラネタリウム上映を実施した。

番組制作にあたっては、光学式プラネタリウム及びデジタルプラネタリウムを効果的に活用し、センター独自の「オリジナル番組」を2作品制作した。特に更新したデジタルプラネタリウムの新機能(三次元衛星画像地形データの描画、シミュレーション機能等)を最大限に活用し、最新の性能をアピールできる番組を制作した。

スタッフによる「星空解説番組」では、季節の星空や天文現象等のトピックスを交え、デジタルプラネタリウムの新機能を活用し、幅広い年代の方にわかりやすい内容で解説を始めた。

加えて、あらゆる世代の人がプラネタリウムに親しみ、気軽に体験できる契機となるよう「こども番組」、「特別番組」をスケジュールに組み込み、来館者が興味関心を抱きやすいコンテンツを選択して上映した。特に繁忙期であるお盆期間(8月10日～18日)に上映したアポロ11号月着陸50周年記念特別番組は好評を得ることができた。

新しい試みとしては、企業との共同実証実験「ア・ラ・カルト上映」と称し3ヶ月間で8種類の番組を順次上映し、前年度の同期間と比べて観覧者数が約1.8倍増加できたとともに、上映ライセンス料の削減を実現できた。

その他、プラネタリウム設備を活用した取り組みとして、研究・教育機関等と連携して全天周映像コンテンツの制作協力や実証実験を行った。

次年度開催の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた

取り組みとして、外国人及び聴覚障害者のための補聴援助システムの増設や企業とのプラネタリウムリアルタイム翻訳・字幕ツールの実証実験を行うとともに、プラネタリウム設備を活用した臨場感ライブサイト実施に向け、つくば市への協力を行った。

a. 2019 年度上映実績

オリジナル 番組	宇宙の中のオウムガイ ～自然こかくされたさまざまなカタチ～	2019年1月12日(土) ～6月23日(日)
	第2の地球を探しに行こう! ～惑星探査のいま～	2019年6月29日(土) ～12月8日(日)
	地球発、宇宙の彼方へ ～未体験スペースツアーへの招待～	2020年2月1日(土) ～8月31日(予定)
星空生解説	見上げてみよう!今日の星空～春～	2019年3月1日(金) ～5月31日(金)
	見上げてみよう!今日の星空～夏～	2019年6月1日(土) ～9月1日(日)
	見上げてみよう!今日の星空～秋～	2019年9月6日(金) ～11月30日(土)
	見上げてみよう!今日の星空～冬～	2019年12月1日(日) ～2019年12月8日(日) 2020年2月1日(土) ～2020年3月1日(日)
こども番組	プラネタリウム はなかっぱ 花さけ!パッカ～ん 宇宙旅行	2018年6月2日(土) ～2019年5月31日(金)
	プラネタリウム ちびまる子ちゃん ～それでも地球はまわっている～	2019年6月1日(土) ～未定
	名探偵コナン 星影の魔術師(マジシャン)	2019年3月1日(金) ～11月30日(土)
	名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道(ギャラクシーレイルロード)	2020年2月1日(土) ～未定
特別番組	天の川 ～悠久のほし物語～	2019年4月1日(月) ～2019年5月31日(金)
	(プラネタリウム ア・ラ・カルト) ALMA まだ見ぬ宇宙へ	2019年6月1日(土) ～6月7日(金)
	(プラネタリウム ア・ラ・カルト) 天の川 アイランド・ヒーリング	2019年6月8日(土) ～6月14日(金)

	(プラネタリウム ア・ラ・カルト) ノーマン・ザ・スノーマン～北の国のオーロラ～	2019年6月15日(土) ～6月21日(金)
	(プラネタリウム ア・ラ・カルト) ALMA まだ見ぬ宇宙へ	2019年6月22日(土) ～6月23日(日)
	(プラネタリウム ア・ラ・カルト) 秘密結社鷹の爪～グラグラ!ブラックホールのナゾ～	2019年6月29日(土) ～7月5日(金)
	(プラネタリウム ア・ラ・カルト) いのちの星の作り方	2019年7月6日(土) ～7月19日(金)
	(プラネタリウム ア・ラ・カルト) 恐竜の記憶	2019年7月20日(土) ～8月18日(日)
	(月着陸50周年記念特別番組) APOLLO11号	2019年8月10日(土) ～8月18日(日)
	(プラネタリウム ア・ラ・カルト) 世界遺産 宇宙への祈り	2019年8月19日(月) ～9月1日(日)
	オリンピックと星空 ～平和をねがう 天空の旅～	2019年9月6日(金) ～2019年12月8日(日)
	HAYABUSA2 -RETURN TO THE UNIVERSE-	2020年2月1日(土) ～未定
	HAYABUSA2 -REBORN-	2020年3月14日(土)～ ※臨時休館により延期
学習番組	小中学校からの要望に基づき、「夏・冬の星座と大三角」「月の満ち欠け」をテーマに適宜実施。	

b. プラネタリウム施設におけるバリアフリーに向けた取り組み

あらゆる人がプラネタリウムを体験できる取り組みとして、オリジナル番組の字幕、副音声、補聴援助機器によるサービスの提供を行った。英語版副音声の作成にあたっては、地域のインターナショナルスクールや外国人ボランティアの協力を得て実施した。

- 英語版上映 : 14回
- 字幕投影(日本語) : 92回
- 副音声(イヤホン/日本語、英語) : 日本語 242件/英語 324件
- 補聴援助機器(磁気誘導ループ) : 日本語 5件

c. オリジナル番組の他館上映実績

これまでセンターが制作したオリジナル番組の「流れ星のひみつ」や「火星にいこう」等が他の科学館や博物館（5館）で上映され、他館のプラネタリウム運営や星空・天文の普及活動にも貢献した。

番組タイトル	上映館	上映期間
流れ星のひみつ	東大阪市立児童文化 スポーツセンタードリーム21	2019年4月9日(火) ～2019年7月7日(日)
天の川～悠久のほし物語～ (七夕物語素材)	とよた科学体験館	2019年6月2日(日) ～2019年7月14日(日)
ゴッホが描いた星空	長野市立博物館	2019年7月27日(土) ～2019年8月25日(日)
実験プラネタリウム	はまぎんこども宇宙科学館	2019年8月11日(日)
火星にいこう	佐世保市少年科学館星きらり	2020年1月25日(土) ～2020年7月12日(日)

d. 天体観望会

プラネタリウム設備を効果的に活用し、天文学及び天体観測の入口的役割になることを念頭に、天文や星空、星座に親しみ、興味関心を喚起することを目的に、プラネタリウムによる解説を組み込んだ観望会を定期的実施した。(隔月開催/7回)

その他、タイムリーな天体現象を観測する観望会の開催やより多くの方に体験できる環境を提供するために、既存の移動型35cm望遠鏡の他、30cmドブソニアン望遠鏡を新たに導入した。

<テーマ一覧>

5月	春の大曲線
7月	木星とガリレオ衛星
8月	土星
9月	アルビレオ
11月	秋の四辺形
1月	※デジタルプラネタリウム等更新工事期間
3月	宵の明星・金星 ※臨時休館により中止

e. 星空コンサート

プラネタリウム施設の幅広い活用方法の実践、新しい来館者層の開拓を目的にプラネタリウムと文化芸術を融合させた企画「星空コンサート」を実施した。  
 <演奏者及び観覧者数一覧>

4月20日(土)	脇田優子 (ヴィオラ) 森口真智子 (ヴァイオリン) 栗原りか (ヴァイオリン) 城戸春子 (チェロ)	184名
5月24日(金)	古谷真未 (チェロ) 相馬邦子 (ピアノ) 枝元一代 (ヴォーカル)	184名
6月23日(日)	安保美希 (ピアノ) 三田千晶 (サクソフォン)	169名
7月26日(金)	小高根ふみ (ヴァイオリン) 西村友里亜 (ヴィオラ) 大森健一 (チェロ)	168名
8月31日(土)	古川貴子 (ピアノ) 小高根ふみ (ヴァイオリン) 西村友里亜 (ヴィオラ) 大森健一 (チェロ)	193名
9月28日(土)	今高友香 (ヴァイオリン) 茂呂明日加 (ピアノ)	192名
10月27日(日)	渡辺大輔 (ケーナ) 菅野朝子 (ヴァイオリン・フィドル) 熊本比呂志 (パーカッション) 根木マリサ (ピアノ)	185名
11月30日(土)	M I L L E A (ヴォーカル) 佐久間薫 (ピアノ伴奏)	190名
12月	※デジタルプラネタリウム等更新工事期間	—
1月	※デジタルプラネタリウム等更新工事期間	—
2月	※デジタルプラネタリウム等更新に伴う休演	—
3月	※臨時休館	—

f. プラネタリウムイベント

○プラネタリウム設備を活用した取り組みとして、筑波大学芸術学系と連携し、卒業研究の一環としてデジタルプラネタリウムを利用した全天周映像制作に協力した。

○茨城県県南生涯学習センター「いばらき子ども大学」講座に協力し「子ども天体講座(工作)」実施した。(筑波学院大学 8/4(日))

#### ②3Dシアター【公益1】

3Dシアターは、センターの特長ある体験設備として、新コンテンツの上映とともに関係機関とイベント利用等の協議を進め、団体向けのプログラムを拡充した。

#### (4) ミュージアムショップ【収益1】

科学館のミュージアムショップとしてのあり方を見直し、来館者が科学館に求める商品の提供に心がけ、センターの活動(企画展やプラネタリウム番組等)に関連した時節を得た売り場づくりを念頭に置き、ミュージアムショップの運営を行った。

オリジナルグッズとして、センターのキャラクターである「テクノ筑丸」や現在も根強い人気のある科学万博のマスコットキャラクター「コスモ星丸」等を使用した文房具やTシャツ等を製作し、販売の促進を図った。また、この3月に科学万博開催35年目を迎えたことから、35周年記念のオリジナルグッズを製作したが、3月から新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、当面の間、センターが臨時休館となったため、ホームページの充実を図り、通信販売等に力を入れた。

#### (5) その他【公益1・収益1】

センター全体の活動周知や団体来館の促進、学校教育のための利用向上を目的とした「教員のための博物館の日」の開催をはじめ、科学技術コミュニティの場になることを強く意識し、関係機関等と連携や協力を得て展開した。【公益1】

#### ①学会・協議会等活動への参加・協力【公益1】

「全国科学博物館協議会」、「日本プラネタリウム協議会」等の活動に職員を参加させて、知見等の資質向上を図った。

○全国科学博物館協議会の2019年度第2回全国科学博物館協議会総会に職員を参加させ、他館とのネットワーク等資質の向上を図った。

○国際博物館会議(ICOM)京都大会に職員を参加させ、海外博物館の情報収集等資質の向上を図った。

○日本プラネタリウム協議会の全国プラネタリウム大会2019・福岡に職員を参加させ、情報収集等職員の資質向上を図った。

○「第10回全国理工系学芸員展示研究大会」に職員を参加させ、展示造作の情報収集等資質の向上を図った。

- 静岡科学館が主催する「科学館・博物館若手職員向けグローバル研修交流会」に職員を参加させ、サイエンスコミュニケーターの資質の向上を図った。
- 日立市民科学文化財団が主催する「第 27 回日立サイエンスショーフェスティバル」に職員を参加させ、サイエンスコミュニケーターの資質の向上を図った。

## ②その他【収益 1】

センターの利用促進及びサービスの充実と向上を目的に、外部事業者への「ほしまるカフェ」の運営の委託を継続した。3月3日からは新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、当面の間、センターが臨時休館となったため、「ほしまるカフェ」も営業を休止した。

また、駐車場は来館者や地域に向けたサービスの一環として、平日は無料開放し、気軽に足を運べるよう配慮するほか、土・日・祝日及び春・夏休み等の繁忙期は廉価での運営を休館日を除き行った。

その他、財団の事業目的に沿った施設等の貸与・貸付を行った。

## 2. 科学技術の普及啓発及び人材育成の促進、科学技術に関する産業界、大学及び公的研究機関の連携促進並びに科学技術の国際交流の促進に関する事業【公益 2・収益 2】

センターにおける科学技術の普及啓発活動を推進することを念頭に、継続して県内教育委員会を訪問し、事業紹介及び連携事業の提案を行った。また、地域の教育機関と連携して「つくば市教育研究会理科教育研究部・理科主任研修会」の開催に協力し、センター活動を紹介して今後の利活用を促した。

その他、地元つくば市やつくばインターナショナルスクール（TIS）と地域連携及び教育活動の向上を図ることを目的とした協力を継続している。

### （1）科学技術の普及啓発及び人材育成の促進【公益 2】

①科学技術週間における筑波研究学園都市研究施設一般公開に対する支援をはじめとする施設料金割引や展示・催事等の実施【公益 2】

科学技術週間において、「一日館長」イベントの実施、期間中のセンター入館料割引を行うとともに、研究施設一般公開に対する支援を行った。

②科学技術を通じた地域コミュニケーションの創造のための事業【公益 2】

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）校と研究機関と連携したコミュニティづくりへの支援を検討した。

### ③全国ジュニア発明展【公益2】

今年度より全国ジュニア発明展を休止し、活動目的を継承し、地元茨城県の小中学生の科学研究・発明工夫活動を支援するため、第63回茨城県児童生徒科学研究作品展及び茨城県発明工夫展県南地区展（茨城県県南教育事務所主催）に共催し、作品の展示協力、県内児童生徒関係者に対して入館料を無料にした。また、新たに第63回茨城県児童生徒科学研究作品展（兼日本学生科学賞茨城県作品展）（茨城県教育委員会主催）に後援し、財団理事長賞を授与した。

### ④科学技術の普及啓発及び人材育成を促進する事業の共催支援・協力【公益2】

科学技術に関する映像作品を通して、科学技術への理解増進や関心の一層の拡大を目指し、日本科学技術振興財団等との共催で「第61回科学技術映像祭」を実施した。また、科学技術映像祭の成果発表や活動の周知として、入賞作品上映会をセンターで行った。予定していた第12回日本地学オリンピックは、大会が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になった。

その他、下記事業について共催、後援を行った。

○物理オリンピック 2019

○第20回全国中学生創造ものづくり教育フェア

○第9回科学の甲子園茨城県大会

○2019年度「宇宙の日」記念 全国小・中学生作文絵画コンテスト

### ⑤おとなのためのサイエンス講座【公益2】

あらゆる人が科学技術をテーマに集い、対話し、理解する機会を提供する取り組みの一つとして、大人が気軽に科学技術について学び、関心を深める場となる「おとなのためのサイエンス講座」を継続して実施した。

例年人気のあるジオパークの分野では、通常の講義中心のものと筑波山地域ジオパークをめぐるバスツアーの2講座を実施した。講座の運営については、前年度に引き続き筑波大学、日本大学、理化学研究所の協力を得て円滑に進めることができた。（12講座／受講者95人）

### ⑥アウトリーチ活動【公益2】

ボランティアインストラクターの参画を得て、幼稚園、学校、公民館等に対して移動プラネタリウムをはじめとする科学出前教室として、サイエンスショー、科学工作教室、実験機器貸出等を実施した。実績としては、112件、9,783人の受講者が参加した。（前年度：127件、11,570人）

本活動を県内教育委員会へ継続して紹介するほか、昨年度に引き続き筑波大学附属病院小児病棟に入院している子どもたちを対象に実施したことに加え、つくば市との協力で、中心市街地において親子科学実験教室を10回行った。また、3月には障害を持つ児童、家族のためのイベントに共催し、移動プラネ

タリウムを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期になっている。

#### ⑦エキスポ科学クラブについて【公益2】

将来の科学技術人材の育成とその拠点になることを目的とした会員制の「エキスポ科学クラブ」をスタートさせた。

小学校3年生・4年生の児童を対象に50人の会員を募集し、1年間を通してのクラブ活動を実施した。1年間で18教室を実施し、1教室12～16人で募集、なかには親子で参加できる教室も設定した。教室は、前期（9教室）と後期（9教室）に分けて募集し、希望する教室に申込をする形で決定した。

1人あたりの受講教室数は4～6講座となったが、会員に行ったアンケート調査では非常に好評で、「もっと多くの教室を受講したかった。」等の感想もあった。

#### ⑧科学館連携事業【公益2】

科学館・博物館の運営や活動の支援として実施している巡回展示物の貸し出しを長崎市科学館に実施する予定で、展示物の整備、準備をしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となった。また、文部科学省より無償貸し付けを受けている展示物のうち、老朽化の激しいものについて廃棄処分を実施した。

#### ⑨学芸員育成のための教育支援・職場体験、企業実習の受け入れ【公益2】

学芸員養成課程の博物館実習生（3名）を受け入れた。また、職場体験等の実施については、他県からの受入申請も含め、中学校（3校9名）からの受け入れのほか、大学からの実習生（5名）を受け入れた。実習生による課題発表も充実し、終了後、各派遣元からも本実習へ良い評価を得た。

また、つくばインターナショナルスクール（TIS）と地域連携及び教育活動の向上を図るとともに、国際バカロレア課程に必要な社会活動に参画することを目的に相互に有効な活動を展開している。今年度の活動としては、生徒11名が参加し、内容としては、「プラネタリウムガイド英語版の作成」「科学館利用に関するサーベイ」「イタリア語パンフレットの作成」「センターWebサイトの英語翻訳」「PRビデオの作成」を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月以降直接のミーティングは実施できなくなったが、完成に向けプロジェクトごとにメール等で確認を行った。2020年度も継続の予定である。

## (2) 科学技術に関する産業界、大学及び公的研究機関の連携促進並びに科学技術の国際交流の促進【公益2・収益2】

### ①助成支援【公益2】

「2019年度みらいの科学技術振興事業」(つくばリンク事業)への募集活動を行い、3件の応募があった。そのうち「筑波会議2019」に助成した。

また、つくばサイエンス・アカデミーへの協力として、以下の事業へ共催、後援を行った。

○SATテクノロジー・ショーケース2020

○SATフォーラム2019

○第14回つくばスタイル交流会

### ②つくばサイエンスニュースによる情報発信【公益2】

筑波研究学園都市にある産・学・官の研究機関が発表した科学技術関連ニュースを分かり易く伝えるWeb版「サイエンスニュース」による情報発信を行った。2018年9月よりTwitter公式ページを開き、情報発信を継続している。

2019年度のトピックス掲載記事数は300件、月2回更新するコラムは47本掲載した。ページ閲覧数は、アクセス数249,448件で昨年度の135,079件を大幅に上回った。

### ③研究者語学研修を通じた研究者交流【収益2】

筑波研究学園都市内の研究者、教育者、支援スタッフ等の英語力向上と研修の場を活用した人的交流の推進を目的として、文部科学省研究交流センターと共催して英語研修を実施した。

受講者数は30機関から306名(前年度:29機関、379名)が参加した。需要のある授業内容の選定、開始時間等の見直し、追加募集など人数確保に努めたが、研究所の公費削減等により受講者が減少したことから、クラス数、受講料等を見直し適正な運営に努めた。今後もクラス編成、実施内容について検討する必要がある。

## 3. 科学技術関係団体等に関する事業【他1】

「科学技術団体連合」及び「牧友会」の事務局業務については、2018年4月から引き続き休止している。

## 4. 情報発信・広報活動

### (1) 情報発信（情報公開）

「2018年度事業報告書及び計算書類等」「2019年度事業計画書及び収支予算書等」を財団ウェブサイトで公開した。

### (2) 広報活動

センターの運営を中心に財団の事業活動について広く広報するため、筑波研究学園都市記者会を通じて、報道関係機関へ資料配布等により情報提供を行った（13件）。

プラネタリウムや企画展等の活動については試写会・内覧会を開催したほか、新聞やTV等のメディア取材をはじめ、お子様に人気のポケモンや戦隊ものの撮影にも適宜対応した（取材件数185件）。また、InstagramやFacebookなどSNS関係の取材や撮影が多かった。

その他、センター活動の各種メディアへの広告掲載、自治体等と連携した観光キャンペーン等への参画のほか、ホームページによる各種事業及びセンター活動に関する情報の発信に加え、Instagram及びFacebookからの発信を行っている。

財団ホームページのページ閲覧数は、前年度比5,732件減の35,188件（前年度：40,920件）、センターホームページのページ閲覧数は、前年度比98,578件減の1,859,557件（前年度：1,958,135件）ではあったものの、平均ページ滞在時間は約7%増加した。センターホームページのアクセスと利便性のさらなる向上のため、ホームページリニューアルに向けて準備を進めた。

### (3) 情報セキュリティの強化

サイバー攻撃に対する財団及びセンターのウェブサーバー、メールサーバーのセキュリティサービスを引き続き導入した。

## 5. その他（新型コロナウイルス感染拡大の影響）

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を受け、国から学校へ臨時休校の要請がなされた。これに伴い、センターも来館者およびスタッフの安全確保のため、感染拡大防止策として、まずは3月3日から16日までを臨時休館としたが、その後も感染予防、拡散防止に関する諸般の状況を見ながら休館期間を延長する対応が余儀なくされ、当該年度内は休館を継続した。この間、当面のイベントについても延期、もしくは中止などの広報を行うとともに、センターではマスクや消毒液の確保など、感染防止対策として必要な開館準備を行った。

## Ⅱ. 財団運営に関する総合的な活動に関すること

### 1. 代表理事・業務執行理事及び理事会・評議員会

代表理事及び業務執行理事の執行体制で財団経営を担い、業務を適切に執行した。理事会・評議員会については、定款等で定められている通り以下の通り運営した。

#### (1) 理事会

(開催日)		議題
2019年 6月6日(木)	第30回 理事会 (通常)	<決議事項> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度事業報告書(案)について</li> <li>・平成30年度決算報告書(案)について</li> <li>・第18回定時評議員会の招集について(案)</li> </ul> <報告事項> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長職務執行状況報告</li> <li>・専務理事職務執行状況報告</li> <li>・基金運用状況について</li> </ul>
2019年 11月14日(木)	第31回 理事会 (臨時)	<決議事項> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資産運用に関する諸規程の改正について(案)</li> </ul> <報告事項> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長職務執行状況報告</li> <li>・専務理事職務執行状況報告</li> </ul>
2020年 3月5日(木)	第32回 理事会 (通常)	<決議事項> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度事業計画書(案)について</li> <li>・2020年度収支予算書(案)、資金調達及び設備投資の見込み(案)について</li> <li>・2020年度基本財産基金の運用方針について(運用計画)(案)</li> <li>・室長職及び次長職の定年制度について(案)</li> <li>・規程等の改正について(案)               <ul style="list-style-type: none"> <li>正規職員就業規程の改正について(案)</li> <li>契約職員就業規程の改正について(案)</li> <li>正規職員給与規程の改正について(案)</li> <li>契約職員給与規程の改正について(案)</li> <li>組織及び職制規程の改正について(案)</li> <li>育児・介護休業等に関する規則の改正について(案)</li> </ul> </li> </ul>

		<報告事項> ・理事長職務執行状況報告 ・専務理事職務執行状況報告
2020年 3月24日(火)	第33回 理事会 (書面決議)	<決議事項> ・第19回臨時評議員会の招集について(案)

## (2) 評議員会

(開催日)		議題
2019年 6月27日(木)	第18回 評議員会 (定時)	<決議事項> ・平成30年度決算報告書(案)について <報告事項> ・第30回通常理事会決議事項について ・財団の活動状況について ・基金運用状況について ・平成30年度年度事業報告書について
2020年 3月30日(月)	第19回 評議員会 (書面決議)	<決議事項> ・常勤理事候補者の公募について(案)

## 2. 監査

理事の業務執行及び事業報告、計算書類等の監事監査を行った。

また、これに資するため外部監査として公認会計士による監査を実施した。

○2019年5月16日(木)～18日(土) 公認会計士による監査

○2019年6月3日(月)、4日(火) 監事監査

## 3. 内閣府による立ち入り検査

2020年2月18日(火)に公益法人移行(2012年4月1日)後、2回目となる内閣府による立ち入り検査を受検した。現状の公益法人の運営について問題となる大きな指摘もなく終了した。

## 4. 基金の運用

### (1) 運用収入

為替（豪ドル）が円高傾向で推移し、特に3月以降、新型コロナウイルスの世界的な大流行が為替の円高要因となり、予算を約17.8百万円下回る収入額となった。

### (2) 再投資

基金運用の方針に基づき、額面17.884億円分の再投資を行った。

	銘 柄	額面	利 率
償 還	GS ファイナンス・コーポ PRDC 債(米)	6 億円	3.510%(変動)
	三菱 UFJ 証券ホールディングス PRDC 債 (米)	5 億円	2.700%(変動)
	第1回ハフア・ケミカル債	1.87 億円	0.720%
購 入	バークレイズ銀行 PRDC 債(米) ※2018 年度償還分の再投資	5 億円	当初1年 3.21% 以降変動
	バークレイズ銀行 PRDC 債 (償還元本変動型)(米)	4.884 億円	当初1.25年 3.71% 以降変動
	J. P. モルガン・ストラクチャード・プロダクツ PRDC 債(償還元本変動型)(米)	8 億円	当初0.75年 3.75% 以降変動

### (3) その他

財団を取り巻く流動的な金融情勢等を踏まえ、財団の事業運営に必要な資金の確保を目的とする投資規則の見直しのため、取引を行っている証券会社及び基金運用アドバイザーと意見交換を行い、資産運用規程及び債券運用規則の改正を行った。

## 5. 施設・設備【公益1】

センター来館者の安全性や快適性を向上させるため、計画的に施設・設備等の整備を行った。(エレベーターの更新工事・給水管等更新工事)

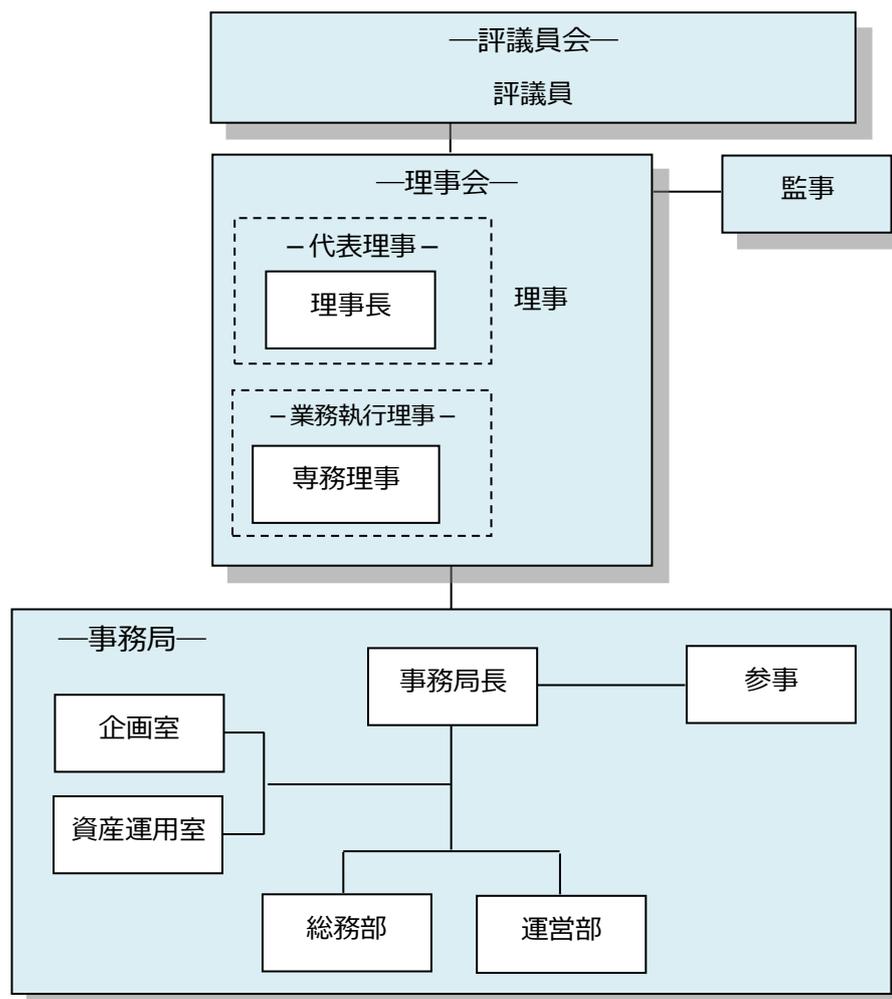
また、老朽化等による施設・設備等の不具合に的確に対応した。(休憩スペース上屋テント張替工事・高圧配電盤地絡方向継電器他交換工事・売店脇女子トイレ排水管付替工事・揚水ポンプ制御盤交換工事)

## 6. 業務執行体制

公益財団法人の代表理事として理事長、業務執行理事として専務理事を、事務局に総務部、運営部、企画室、資産運用室を置き業務を行った。

また、財団業務を担う人材の確保、多様化する業務への柔軟な対応、職員の能力、専門性をより発揮しやすい環境の醸成に取り組むため、職員就業規程・職員給与規程等の改正を行うなど、効率的かつ効果的な事業運営を行った。

組織図



2020年3月31日時点

## 7. その他

法定点検が義務付けられている消防用設備等点検及び防火対象物点検（9月、3月）を実施し、適切に届出を行った。加えて、消防計画に基づき、消防訓練（7月、3月）を2回行った。

他に、建築基準法に基づく防火設備定期点検（5月）を行った。

### 事業報告書の附属明細書について

2019年度事業報告については事業報告書に記載のとおりであり、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はないので作成しない。